

会派行政視察報告書

平成 25 年度会派みんなの名取の行政視察研修を、平成 25 年 4 月 19 日(金)の 1 日にて執り行いましたので、その概要を下記のとおり報告いたします。

平成 25 年 4 月 23 日

名取市議会議長 山田 龍太郎 様

会派名 みんなの名取

代表 大友 康信



記

- 1 期 日 平成 25 年 4 月 19 日(金)
- 2 参加人員 1 名 (氏名) 大友 康信
- 3 視察先 (1) 東京都会計管理局 管理部企画課 新制度係
- 4 行程表 別紙のとおり
- 5 調査事項 別紙のとおり
- 6 所 感 別紙のとおり



調査事項

新たな公会計制度を導入している東京都。会計管理局管理部会計企画課新制度係に出向き、次のような項目について調査してまいりました。

- ・ 東京都の新たな公会計の取り組みについて、概要と導入の意義と経緯。
- ・ 会計システム説明と入力作業の実演。
- ・ 導入により得られる情報の活用事例、実績・成果
- ・ 他の自治体への導入支援等。

所 感

聳え立つ要塞のような東京都庁に、挑みかけるような緊張感で単独視察に乗り込みましたが、担当の方々の温かな対応により、和やかな雰囲気の中で視察調査をさせていただきました。質疑においても、その都度に丁寧で明確な回答をいただき、限られた時間いっぱいまで、とても充実したものとなりました。

まず、東京都の新たな公会計制度の概要と導入の意義と経緯については、始めに私より過日2月議会の中で行った一般質問の内容と調査内容の理解度をお示しした後に、当局より説明をいただきました。

会計システムの説明と入力作業の実演では、年間560万件に及ぶ処理がスムーズに行なえるように、職員が行う従来の入力作業の変化や負担の無いような配慮が十分になされておりました。

導入により得られる情報の活用事例、実績については公会計白書のとおりで、

- ・ 説明責任の充実
- ・ マネジメントへの活用
- ・ 債権管理、財産管理の適正化
- ・ 職員の意識改革

導入による効果と活用で明確で大きな成果が期待できるものと確信いたしました。

他の自治体では、すでに東京町田市、江戸川区、大阪府などで導入されております。また東北よりは宮城県議、仙台市議や秋田県ほか多数の視察を受けての説明実績もあり、当市でも一日も早く導入に向けて具体的な調査検討を進めるべきであるとの確信を得て調査を終えました。